

「福井県立大学農産物県産化棟（仮称）整備工事」プロポーザル審査要領

1 趣 旨

「福井県立大学農産物県産化棟（仮称）整備事業」に係る工事（設計施工一括発注方式）を発注するに当たり、業者特定のためのプロポーザル（以下「プロポーザル」という。）の審査については、この要領に基づき行うものとする。

2 審 査

（１）審査の進め方

技術提案書を提出した各社に対してヒアリングを実施し、ヒアリング終了後、「福井県立大学農産物県産化棟（仮称）整備事業」プロポーザル審査会委員長および委員（以下「審査員」という。）の評価を総合して、契約予定業者を特定する。

（２）ヒアリング

ヒアリングは、１者あたり３０分（プレゼンテーション１０分、質疑応答２０分）とする。

（３）審査方法

ヒアリングの審査方法は次のとおりとする。

- ①各審査員が審査項目ごとに点数評価し、審査会の合計得点が一番高い技術提案を特定する。
- ②参加する業者が１者のみであった場合は、次の（４）の審査会満点の７割以上の得点を採用の基準点とする。

（４）審査項目とその視点および点数

審査員は、次の７項目について、別紙「福井県立大学農産物県産化棟（仮称）整備工事」プロポーザル審査票」により、点数評価する。

No.	審査項目	観 点	審査員	審査会 満 点
1	機能性	要求水準書に提示した設計の基本構想等に即して、使いやすくする工夫がされているか。	30点	150点
2	ライフサイクルコストの削減	建築設計上、設備設計上の工夫により、ライフサイクルコストの具体的な削減策が講じられているか。	10点	50点
3	外観、内観のコンセプトの表出	既存建物・周辺景観と調和した外観、および自然の素材感を感じられる内観について明確なコンセプトが描かれ、かつ、実現のアイデアが提示されているか。	30点	150点
4	業務遂行能力	業務遂行の信頼性を担保する十分な能力があるか。	5点	25点
5	事業スケジュール	要求水準書の事業スケジュールに即した具体的かつ効率的な業務スケジュールとなっているか。	5点	25点
6	所要経費	全体の所要経費が適正か。所要経費の内訳は適正か。	10点	50点
7	社会性	下請としての県内企業の活用、および県産品の活用が具体的に計画されているか。	10点	50点
		合 計	100点	500点

3 その他

この要領に定めない事項については、審査会で協議して定めるものとする。